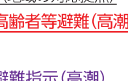


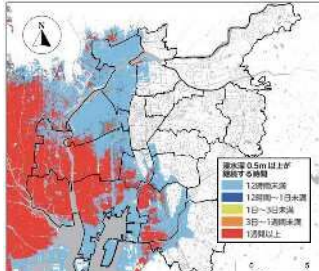
想定し得る最大規模の風水害時のリスクシナリオ

時間	雨・風・河川の状況など	気象情報／防災情報	名古屋市など
3日前	雨の降り方 時間雨量10～20mm  時間雨量20～50mm  時間雨量50mm～ 	風の吹き方 平均風速15～20m/s  平均風速20～25m/s  平均風速25m/s～  平均風速10分間の平均値	気象情報や防災情報の収集 ▼災害警戒本部 ▼市民に必要な情報を随時発信  ▼不要不急の外出抑制の呼びかけ ▼災害対策本部 ▼災害救助地区本部(地域の対応拠点) ▼警戒レベル3 高齢者等避難(高潮)  ▼警戒レベル4 避難指示(高潮) 
1日前	平均風速10m/s 時間雨量10mm程度	▼警戒(暴風・高潮) ▼特別警戒(暴風・高潮・波浪) ▼警戒(大雨・洪水) ▼竜巻注意情報	▼水門・陸間等の閉鎖や積み土のう等の水防活動の実施 
12時間前	平均風速10～25m/s 時間雨量30mm程度	▼暴風域に入る	▼警戒レベル4 避難指示(洪水・土砂) ▼自衛隊をはじめとした応援要請
6時間前	平均風速25～50m/s 時間雨量50mm程度	▼顕著な大雨に関する気象情報 ▼土砂災害警戒情報 ▼洪水予報(氾濫注意～氾濫危険)	▼警戒レベル5 緊急安全確保 
発災	平均風速50m/s程度 時間雨量150mm程度	▼台風上陸 ▼記録的短時間大雨情報 ▼特別警戒(大雨) ▼氾濫発生情報(洪水・高潮)	▼被害状況の確認 ▼救助・救出活動/被災者の身元確認 ▼堤防の仮復旧や排水作業等の応急復旧活動  ▼災害廃棄物への対応  ▼ボランティアとの連携・受入れ ▼各種被災者支援の広報 ▼家屋被害調査開始 ▼罹災証明書等の受付開始
12時間後	平均風速25～50m/s 時間雨量50mm程度	▼特別警戒から警戒への切り替え ▼土砂災害警戒情報の解除	
1日後		▼気象警戒・注意報解除 ▼堤防決壊等に伴う気象警戒の発表基準(発表の基準とする水位・雨量等)の引き下げ	
3日後			
1週間後			

暴風域の様相
▼最大瞬間風速30～40m/s

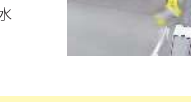
窓ガラス、屋根の破損
▼最大瞬間風速40～60m/s

屋根瓦・資材の飛散、木造住宅は壁の損傷や、最悪の場合倒壊
網羅的な強風により、建物が大きく損傷する可能性
最大瞬間風速: 瞬間風速(3秒平均)の最大値

高潮による浸水継続

▼海抜ゼロメートル地帯や河川沿いで浸水が継続

※このシナリオは、想定し得る最大規模(1,000年に1度程度)の風水害(洪水・内水氾濫・高潮)等が発生した場合の被害様相等をシナリオにしたものです。シナリオに記載のある状況、対応、リスク等は多種多様な風水害時の一つの例であり、実際に起こり得る状況とは異なる可能性があります。

時間	指定緊急避難場所/指定避難所	自宅等	その他(学校・職場・外出先など)
3日前	▼指定緊急避難場所の開設(自主避難者の受け入れ)	▼テレビ等で台風等の気象情報が流れる 	▼テレビ等で台風等の気象情報が流れる
1日前	▼指定緊急避難場所の開設(避難情報に基づく避難)	▼市からの高齢者等避難(テレビ、ラジオ、HP、SNS、緊急速報メール、防災スピーカー・広報車)(高潮) ▼市からの避難指示(高潮)	▼休校や休業の検討  ▼休校や休業の可能性 
12時間前	▼避難場所が大混雑する可能性	▼竜巻等の突風による窓ガラス・屋根等の破損 ▼歩けないほどの強風と飛来物により避難が困難になる ▼風の影響で停電、通信不通等が発生	▼授業等がある場合、生徒は校内で待機 ▼多くの避難者の移動により渋滞が発生 ▼物資の買い溜め等により、スーパー等商品が品薄になる
6時間前	▼避難が遅れた場合、移動中に被災する可能性	▼土砂災害の危険性が高まる ▼ため池決壊の可能性が高まる ▼市からの避難指示(洪水・土砂)	▼移動手段が限られ帰宅が困難になる ▼鉄道の運休により駅等で滞留者が発生 ※場所により被災者になる可能性
発災	▼市内の地形特性により洪水・内水氾濫・高潮・土砂災害等が発生※被災状況は地域で異なる	▼避難が遅れた場合、移動中に被災する可能性	
12時間後	▼被害の収まった地域から多くの被災者が集まる ▼停電地域では、テレビ等による情報収集や照明、空調等が使用できない	▼ライフラインが使用できず熱中症や生活不活発病等が増加 ▼浸水や停電により、マンションのエレベーターが使用できなくなる ▼長期間浸水する地域では、上階に避難した者も物資が底を尽きる ▼浸水の長期化等により自宅等での生活が困難な者が指定避難所へ ▼浸水した家電製品による通電火災が生じる可能性 ▼甚大な被害により、救助・救出されない可能性	▼通信途絶等で情報が十分に伝わらず混乱 ▼携帯電話のバッテリー切れ等により、家族との連絡や情報収集等が困難になる ▼病院で浸水・停電・断水等が継続すると、医療サービスを受けられない ▼スーパー等の休業により、物資や食料の調達が困難になる ▼浸水解消地域では片付け作業が始まり、廃棄物が公園や道路等に混合状態で排出され、悪臭や交通障害が生じる可能性
1日後	▼空調が使えず熱中症になる可能性 ▼慣れない生活環境により、高齢者や既往症を持つ人の病状が悪化	▼ライフラインが使用できず熱中症や生活不活発病等が増加 ▼浸水や停電により、マンションのエレベーターが使用できなくなる ▼長期間浸水する地域では、上階に避難した者も物資が底を尽きる ▼浸水の長期化等により自宅等での生活が困難な者が指定避難所へ ▼浸水した家電製品による通電火災が生じる可能性 ▼甚大な被害により、救助・救出されない可能性	▼学校・職場では片付けや手続き等に膨大な時間を要し、再開が困難な状況が継続
3日後	▼水分不足や運動不足により、エコノミーラス症候群等の健康障害を引き起こす ▼避難者増加に伴う物資不足が発生	▼ライフラインが使用できず熱中症や生活不活発病等が増加 ▼浸水や停電により、マンションのエレベーターが使用できなくなる ▼長期間浸水する地域では、上階に避難した者も物資が底を尽きる ▼浸水の長期化等により自宅等での生活が困難な者が指定避難所へ ▼浸水した家電製品による通電火災が生じる可能性 ▼甚大な被害により、救助・救出されない可能性	
1週間後	▼ボランティアとの連携・受入れ ▼各種被災者支援の広報 ▼家屋被害調査開始 ▼罹災証明書等の受付開始	▼ライフラインが使用できず熱中症や生活不活発病等が増加 ▼浸水や停電により、マンションのエレベーターが使用できなくなる ▼長期間浸水する地域では、上階に避難した者も物資が底を尽きる ▼浸水の長期化等により自宅等での生活が困難な者が指定避難所へ ▼浸水した家電製品による通電火災が生じる可能性 ▼甚大な被害により、救助・救出されない可能性	

時間	ライフライン(上下水道・電気・通信・ガス)	道路・鉄道
3日前	▼気象情報や防災情報の収集	▼気象情報や防災情報の収集 
1日前	▼体制状況について情報共有 ▼関連企業への連絡、状況把握 ▼応急復旧拠点準備	▼鉄道等の「計画運休の可能性」を発表 ▼関係機関との連携体制確保 
12時間前	▼応急活動に向けた応援体制の確保 ▼自衛水防活動の実施	▼運転計画発表(計画運休)を発表 ▼計画運休の実施、運行状況の情報提供 
6時間前	▼風の影響で一部地域で停電、通信不通等が発生	▼応急活動に向けた応援体制の確保 ▼自衛水防活動の実施 
発災	▼供給停止状況等の広報	▼道路交通情報等の広報 ▼アンダーパスや低地道路が冠水 ▼道路が一部通行止め 
12時間後	▼各事業者による被害状況の把握 ▼被害状況を踏まえた復旧方針・計画の立案	▼道路管理者・鉄道事業者による被害状況の把握 ▼停電が発生している地域では信号が停止 ▼浸水が解消した道路内に、放置された被災車や災害ごみ等が散乱 ▼浸水解消地域から復旧活動 ▼道路区間の指定・車両の移動 
1日後	▼供給停止・使用制限・復旧見通し等の広報 ▼浸水解消地域から復旧活動 ▼応急対策車両や災害復旧機器等を活用した応急復旧	▼通行可能な道路に車が集中し、市内各所で渋滞が発生 
3日後	▼浸水が解消された軽微な浸水住宅への漏電検査の実施	▼地下鉄では大量の水が地下に流入し、浸水が解消されるまで復旧対応が困難 ▼鉄道の運行停止に伴う代替輸送の実施に係る広報 
1週間後	▼浸水が解消された地域での復旧活動を継続 ※建物自体が被災した場合やライフライン供給施設等が大きく被災した場合、復旧に長期間を要する可能性	▼浸水が解消された地域での復旧活動を継続 ▼【鉄道】復旧完了区間から運行再開 ▼【道路】段階的に交通規制解除

写真・画像の出典 衣紙の写真・画像の出典は、本紙面の通り、出典元記載は名古屋市資料に基づく。①日本放送放送田スケールに関するガイドライン(気象庁) ②気象業務はいま2022(気象庁) ③災害対策2000—都市型水害を考える(国土交通省) ④災害廃棄物情報プラットフォーム(国立環境研究所) ⑤過去の主な災害時の情報発生状況(気象庁ホームページ) ⑥平成30年7月豪雨災害支援(岡山県) ⑦災害廃棄物対策フォトチャンネル ⑧第12回電力レジリエンスワーキンググループ資料(経済産業省) ⑨建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン(国土交通省、経済産業省) ⑩2004年7月13日新潟県中越後の記録(電報企画室 ZOOM) ⑪災害対策用移動電源車の概要(総務省)